
30号 北海道がんセンターたより

平成18年9月発行

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター
〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54 TEL 011-811-9111
☑ ホームページ <http://www.sap-cc.org>



編集発行人:山下 幸紀

北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

放射線科トピックス



放射線科医長 明神 美弥子

放射線科の最近のプロジェクトとして、二つの治療に関する話題を提供します。

2年前に始めた、前立腺の組織内密封小線源治療：放射性同位元素（I-125）粒子永久挿入療法が、週1例の順調なペースで軌道に乗ってきました。この治療は、泌尿器科および麻酔科との協力体制が成り立つ治療です。この治療の適応は、主に低リスク群と定義される（T臨床病期：T1～T2 かつ治療前腫瘍マーカー：PSA < 10ng/ml かつ病理組織構造(Gleason分類)からのGleason score：2～6）症例に限定されます。つまり、低リスク群では放射線治療単独で手術とほぼ同等の治療成績が得られると考えられています。リスクが高くなるにしたがって、前立腺皮膜外への浸潤やリンパ節転移の可能性が高くなりますので、それ以外の患者さまには3次元原体照射による70Gy程度の外部放射線治療を行っております。低リスク群での10年PSA非再発率（腫瘍制御率の代理）は約80～90%程度と欧米で報告されていますが、本邦でのこの治療の認可が2004年9月ということもありまだ結果はわかりません。しかし、前立腺の組織内に4.5mmのシードと呼ばれるチタン製カプセルに封入されたI-125線源を80個前後（個数は前立腺の大きさで変わります）を1-2時間で埋め込んでしまえば、あとはゆっくりと半年以上かけて極めて低いエネルギー(30KeV)のガンマー線が前立腺内部を照射します。直腸などの周辺臓器への障害も少なく治療後の性機能障害が気になる方にも薦められます。

同じように機能温存をめざす治療が、頭頸部領域でも新しいプロジェクトとして今年2月から開始さ

れています。遠隔転移の無い局所進行頭頸部がんを対象に、当科内で1997年から前向きに行ってきた放射線化学療法のプロトコールについて、昨年末までに晩発毒性に関する改善を検証できました。放射線とプラチナ製剤の同時併用における相乗効果を一層高めるために、加速多分割照射(1日に2回以上照射することで、1日あたりの照射線量を増加させる方法)を一部に加えて6週間以内の治療を実現しました。その結果、41例の局所制御率が88%、5年無領域再発率が83%で大変良好な結果でした。この結果は今年11月の米国放射線腫瘍学会(ASTRO)で発表予定です。改めて臨床病期III&IVの下咽頭がんだけを対象としたプロトコールが、耳鼻咽喉科・薬剤部との協力体制の下、院内の倫理委員会(IRB)の承諾を受けました。2月より臨床試験として症例登録しています。耳鼻科とのカンファレンスを通してより多くの情報を共有し、さらに、放射線科病棟の看護師さん達の協力でクリティカルパスがこのプロトコールに導入されることにより、医療の安全性と効率化を図ることができました。ここでも、前立腺がんの場合と同様に他科の方々との連携で少しずつ進歩することができました。

こうした「連携」の経験を通じて、頭頸部カンファレンス(耳鼻咽喉科と)、整形カンファレンス(整形外科と)、リンパ腫カンファレンス(血液科・皮膚科と)および肺がんカンファレンス(呼吸器科と)など、現在継続して行っている臓器別カンファレンスの重要性、さらに、看護師・放射線技師および薬剤師など他分野のエキスペートとの意見交換の必要性を一層感じざるを得ません。

Contents もくじ *****

放射線科トピックス	放射線科医長 明神美弥子	1
輸血検査室のご紹介	臨床検査科血液主任 市川 泰彦	2
第6回治験に関する公開講座のお知らせ	治験管理部 副看護師長 奈良 明子	3
売店におじゃましました	広報委員	4

輸血検査室のご紹介

臨床検査科血液主任 市川泰彦

輸血検査室では専任臨床検査技師1名を含む臨床検査技師3名体制で、主に血液型検査、交差適合試験を行なっています。

血液型検査では、よく知られているABO血液型とRh血液型検査を行なっています。ABO血液型は、血液中の赤血球を使う検査（オモテ試験）と血漿を使う検査（ウラ試験）を行ない、両方の検査結果から血液型が決定されます。またRh血液型は赤血球がD抗原を持つものをRh(+)、持たないものをRh(?)と表現します。このABO血液型とRh血液型は輸血をする時に最も重要な血液型となります。これ以外にもMNS、Duffy、Lewis、Kidd血液型など数多くの血液型があり、当院では必要に応じてこれらの検査も行なっています。

輸血は、赤血球の補充（体内組織への十分な酸素供給）、血小板の補充（止血を図り、又は出血を阻止）、血漿の補充（凝固因子の補充）を目的に、それぞれ赤血球製剤、血小板製剤、新鮮凍結血漿として必要とする製剤を輸注することです。輸血する際には患者さまの血液型（ABO型とRh型ではD抗原の有無）と同型の製剤が原則的に選択されます。

特に赤血球製剤の輸血時には交差適合試験という検査を行なわなければなりません。この検査は患者さまの血漿（あるいは血清）と輸血する赤血球との反応性（赤血球の凝集や溶血の有無）を確認する試験です。この交差適合試験で「適合」となった赤血球製剤が原則的に輸血されることになります。

輸血検査室では、種々の血液型検査、交差適合試験をはじめ、抗体スクリーニング検査等も行い、患者さま一人一人に、より安全な赤血球製剤を選択、供給しています。

近年、患者さまの全身状態、予想される出血量等、適応となる条件が種々ありますが、輸血副作用を回避し得る最も安全な輸血療法として「自己血輸血」が推進されています。特に、稀な血液型や既に赤血球に対する免疫（不規則）抗体を持つ患者さまの場合には積極的な適応になるとされています。

自分の血液をあらかじめ採血、保存しておく方法（貯血式自己血輸血）、手術開始直前に採血する方法（希釈式自己血輸血）があり、当院でもこれらの方法による自己血輸血が行われています。



第6回治験に関する 公開講座のお知らせ



治験管理部 副看護師長 奈良 明子

がんや治療が困難な病気（治療法があっても効果が不十分な病気など）をはじめ、さまざまな病気を克服するために新しい薬が開発される事は大変重要なことです。それは新薬によって新しい治療方法の選択肢が広がるからです。薬の開発には「治験」といって、新薬の候補を健康な人や患者さまに使用して頂き、安全性や効果について検証するための試験が必要となります。世界各国で使われている薬も日本で使えるようになるためには、日本国内での治験が必要となりますが、日本国内での治験は先進諸外国に比べて遅れているのが現状です。そのため多くの国で既に治療で使われている薬が、日本ではなかなか使うことができないという問題も起きています。ところで、新聞広告やTV、インターネットなどで「治験に参加しませんか」と言うフレーズをよく見かけるようになりましたが、この「治験」について

ご存知の方は少ないのではないのでしょうか。治験は患者さまのご協力がなくては成り立ちません。そのため研究的側面がある治験の実施は、患者さまの倫理的配慮を十分考慮した上で、効果や副作用が科学的に正確に調べられるよう、国際的に厳格なルール（GCP）が遵守できる医療機関に限って実施されており、当院でもさまざまな治験を実施しています。

当院では毎年「治験に関する公開講座」を開催し、全道各地から約80～100名の方々の参加者を迎えています。今年は平成18年11月11日（土）に「第6回治験に関する公開講座」を開催いたします。治験とはどういうものなのか、そして患者さまが治験に参加する時どのように医療者と向き合うことが大切なのか、また治験によって誕生した新薬が臨床の現場ではどのような形で新しい治療方法につながっているのか、についてご紹介いたします。

ちけん 第6回「治験に関する公開講座」

よいお薬をより早く
患者さまのもとへ・・・
～新しい治療と治験の役割～



日時：平成18年11月11日（土）
13：00～15：00

場所：北海道経済センター
8階Bホール
札幌市中央区北1条西2丁目
TEL (011) 231-1122（代表）

入場無料、どなたでも参加できます！
事前の申し込みは不要です。

お問い合わせ

北海道がんセンター
治験管理部 治験管理室
011-811-9111（内線314）

～ プログラム ～

ちけん 1. 治験ってなあに？

北海道がんセンター
治験コーディネーター 山岸 佳代

ちけん 2. 患者として治験に参加するには

NPO法人
ささえあい医療人権センターCOML
理事長 辻本 好子

ちけん 3. 治験とがん治療の役割 ～婦人科治療～

北海道がんセンター
産婦人科医長 加藤 秀則

売店におじゃましました

広報委員

平成16年4月より当院1階で営業を行っている売店・ヤマザキショップ。患者さまはもちろん、職員の多くも利用する売店におじゃまし、店員さんにお話を伺いました。

Q. 店員さんは何人いるのですか？

A. 大沢、藤本、中川、山下の4人のスタッフです。

Q. 営業時間、定休日などを教えてください。

A. 午前8時より午後6時まで毎日営業しております。定休日はありませんが、年末年始のみ休ませていただいています。

Q. どんな商品が置いてありますか？

A. 食料品はもちろん、入院時に必要な一式、日用雑貨、帽子、転倒予防シューズ、その他いろいろ置いてあります。

Q. 1日の来客数はどのくらいですか？

A. 平日は500～600名、土日ですと200～300名位です。

Q. 混雑する時間帯はいつくらいですか？

A. 開店時とお昼の1時位が混雑する時間帯です。

Q. 売れ筋のよい人気商品はなんですか？

A. 食料品に新聞、雑誌、民芸品などです。

Q. 売店のセールスポイントを教えてください。

A. 飲料は他店に負けないくらいの品数を扱っています。お菓子なども昔懐かしい商品も多く、お

弁当、パンは月ごとに新商品を入荷し、新鮮な果物やデザートなど関心を寄せていただける商品をたくさん取り揃えてお待ちしております。

Q. 売店にはポイントカードがありますが、そのシステムについて教えてください。

A. 入会費はかかりません。100円のお買い上げごとに2ポイントはもらって、100ポイントたまりますと（5000円相当）自動的に100円のサービス券が発行されます。

Q. 売店で働いていてよかったことは何ですか？

A. たくさんの方と知り合え、また患者さま、職員が気軽に声をかけてくださり、うれしく思います。

Q. 最後に店員さんから利用者に向けて一言をお願いします。

A. いつもご利用いただきましてありがとうございます。お客様皆様と心通じ合える、お客様の立場に立った対応に日々心がけ、信頼していただける売店を志しております。今後とも良品、最良のサービスに努め皆様のご意見を参考にいつまでも愛され続ける売店を目指しますので、よろしく願いいたします。—ヤマザキショップスタッフ一同一—

